

2020年3月9日
日興アセットマネジメント株式会社



エンジェルジャパン・アセットマネジメント*
運用チーム

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン宇佐美博高から 皆様へのメッセージ

右から 宇佐美代表取締役、内藤チーフインベストメントマネジャー、
金沢シニアインベストメントマネジャー、柳葉シニアインベストメントマネジャー、永嶋インベストメントマネジャー

*当ファンドの投資助言を行なう投資顧問会社です。

「エンジェルジャパン・アセットマネジメント」の投資哲学

- 経営者に対する『個別直接面談調査』を徹底することで、革新成長企業を厳選します。
- 新興成長企業は判断が難しいため、アナリスト経験豊かなチーム全員と一緒に面談し、投資判断も完全な合議制にて運営しています。
- IPO(株式の新規公開)のロードショー**でほとんど全ての企業と面談し、革新的な企業とはその後も定期的に面談します。
- 組入企業を順次入れ替え、常に「今が旬」の「成長割安50社パッケージ」を維持することをめざします。

**IPO前に行なわれる機関投資家向けの会社説明会

※上記「50社パッケージ」とは、50社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を50社に限定するものではありません。

～混沌の中こそ本質を探すチャンス～

わが国の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念から投資家のリスクオフ（リスク回避）の動きが鮮明となりました。特に中小型株は、大型株と比較して一般的に財務力が弱いとみられることや、昨年のパフォーマンスが良かったことで利食い売りがしやすい状況であったことから、全面安となりました。感染拡大が実体経済にどの程度の影響を及ぼすかを、現時点で正確に判断することはできませんし、短期的には多くの企業の業績にマイナスの影響を与えることも想定されますが、感染拡大が長期化しなければ、個々の企業が持つ本来の競争力が毀損されることはないと考えられます。むしろこのような時こそ、それぞれの企業の地力をじっくりと見極め、割安な株価水準で投資をすることが、当ファンドの中長期的な基準価額の上昇に資するものと考えて、日々の調査活動に打ち込んでいます。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

最近の個別直接面談では、特に中国に工場を持つ会社に感染拡大の影響を丹念にお尋ねしました。例えば、スマートフォンの製造工程で使われる化学薬品のメーカーでは、主力の中国工場は平時の7割程度まで稼働率が回復しました。また、部材調達先の操業状況は不透明なところがありますが、当初懸念していたよりは良い状況とみられます。国内では旅行やイベントの制限、外国人観光客減少などの影響が懸念されています。短期的には影響を受ける企業も多いと思われませんが、一方でこれを機に、営業方法などを見直して強みに磨きをかけようとする企業も見られます。こうした努力は、状況が落ち着いた時には競合他社を引き離して収益拡大につなげる原動力になると期待されます。

また、外出を控える動きが強まることで、ショッピングやエンターテインメントの分野では、インターネットへのシフトが一段と加速するでしょう。また、働き方の面でも企業がテレワーク（在宅勤務や遠隔地勤務）を推奨する動きが目立っています。元々オリンピックを控えて大企業を中心に準備が進んでいましたが、これを契機に普及が加速することも考えられます。テレビ会議システムや企業向け情報システムなどを提供する企業にとっては大きな商機となりましょう。さらに、テレワークが当たり前になれば、これを前提とした人材採用という選択肢が生まれ、社会全体の効率改善にもつながることが期待されます。

株式市場でも新たな動きが出てきています。新型コロナウイルス関連のニュースにかき消されて目立ちませんが、実はこの3月は近年稀に見るIPO（株式の新規公開）ラッシュです。現時点で28社の上場が公表されており、全て予定通りに上場すると2014年12月（28社）以来の多さになります。もちろんIPO企業も玉石混交ですが、先行き不透明感が残る中では、IPOの活況は将来に向けた一筋の光明と言えます。最近のIPO企業には、若い企業や若い経営者が多く、旧弊に囚われない斬新な事業を展開している企業も数多く見られます。中小型株・新興株市場は引き続き多くの革新が生まれる土壌となっており、将来の日本経済を支えていく存在ということを改めて感じます。また、独自性の高い製品・サービスを展開している企業が多いため、大企業と比べると景気変動の影響を受けにくく、自助努力で成長していく力があるのも魅力的です。当ファンドが中小型株・新興株市場に特化しているのは、まさにこうした理由があるからです。

大きなショックが起きた際には、短期的な影響と中長期的な影響の両方を捉える必要があります。株式市場の動きは往々にして近視眼的になりがちですので、より中長期的な目線でみるのが重要と考えています。昨年は、年間で1,037件の個別直接面談調査を実施しました。本年も引き続き経営者の方々への個別直接面談調査を通して、自らの強みに磨きをかけながら経営環境の変化に対応して、中長期的に成長を遂げていくような企業を積極的に厳選してまいります。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント 宇佐美 博高

1976年一橋大学卒。静岡銀行、すみや電器を経て野村総合研究所入社。ディービー・モルガン・グレンフェル・アセットマネジメント(現ドイチェ・アセット・マネジメント)等株式運用責任者を歴任後、2002年エンジェルジャパン・アセットマネジメントを設立



ファンドの特色

1

高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

○主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業(=グローイング・ベンチャー)に投資を行ないます。

2

エンジェルジャパン・アセットマネジメントによる徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。

3

エンジェルジャパン・アセットマネジメントから投資助言を受けます。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お 申 込 み メ モ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産 留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.5%</u>

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率 <u>2.09%(税抜1.9%)</u>
その他の費用・ 手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに
応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)